令和７年９月29日

ご家族・関係者の皆様へ

阿　桜　園　長

腸管出血性大腸菌Ｏ−157感染症の発生状況について（最終報）

平素より当園の運営につきまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、当園で発生した腸管出血性大腸菌Ｏ−157感染症につきまして、ご利用者様やご家族様、地域の皆様、関係各所の多くの皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

７月31日に最初の水様便・血便等の発症者を確認後、当園内において感染症対策委員会を開催し、横手保健所、平鹿総合病院感染防止対策室をはじめ、関係各所の皆様のご指導ご支援を賜りながら、感染対応を職員一同、全力で取り組んで参りました。

原因について、全利用者様・全職員の検便検査のほか、保存食の調査・厨房内の調査等を保健所で実施しましたが原因不明との判断でした。給食の提供に関しましては、保健所のご指導と大量調理法マニュアルに則り提供して参ります。

現在も１名の利用者様が入院中ではありますが、症状があった利用者様全員の陰性が確認でき、横手保健所より終息の許可が下りたことから、本日をもちまして腸管出血性大腸菌Ｏ−157感染症の終息とさせていただきました。

これまでご尽力頂いた、横手保健所、平鹿総合病院様をはじめ関係各所の皆様のご厚意に深く感謝すると共に、ご指導頂いた内容を真摯に受け止め、職員一同、衛生管理・感染対策に取り組んで参ります。

今後とも、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。